

プログラミング基礎第1回小テスト 解答例1

1. ホームディレクトリに PROGRAM という名前のディレクトリを作成する。

`mkdir PROGRAM`

2. ディレクトリPROGRAMの下にoldという名前のディレクトリを作成する。

`cd PROGRAM`

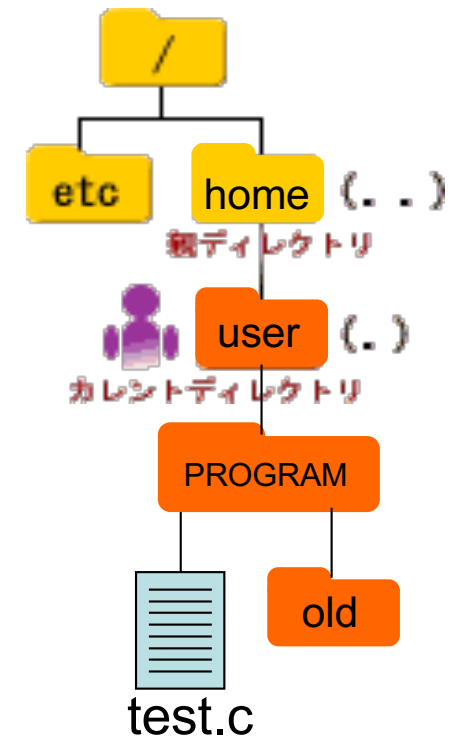
`mkdir old`

3. touchコマンドで test.c という名前の空ファイルをディレクトリPROGRAMに作る。

`touch test.c`

4. ディレクトリPROGRAMに, ディレクトリoldとファイルtest.cが作成できたことを確認する。

`ls -l`



プログラミング基礎第1回小テスト 解答例2

1. ホームディレクトリに PROGRAM という名前のディレクトリを作成する。

`mkdir PROGRAM`

2. ディレクトリPROGRAMの下にoldという名前のディレクトリを作成する。

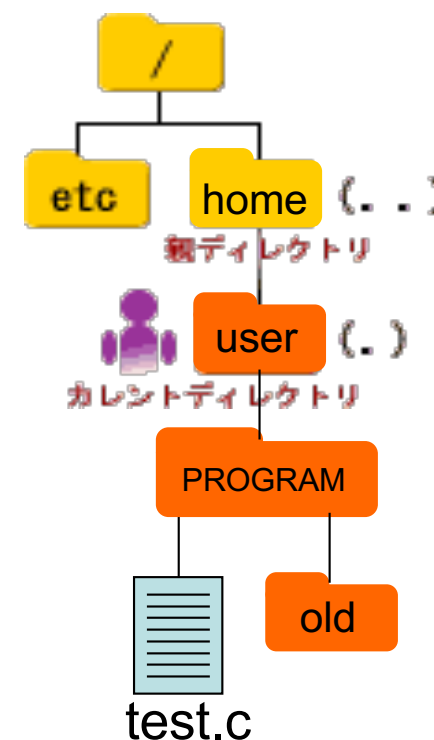
`mkdir PROGRAM/old`

3. touchコマンドで test.c という名前の空ファイルをディレクトリPROGRAMに作る。

`touch PROGRAM/test.c`

4. ディレクトリPROGRAMに, ディレクトリoldとファイルtest.cが作成できたことを確認する。

`ls -l PROGRAM`



プログラミング基礎第1回小テスト 解答例3

1. ホームディレクトリに PROGRAM という名前のディレクトリを作成する。

`mkdir PROGRAM`

2. ディレクトリPROGRAMの下にoldという名前のディレクトリを作成する。

`mkdir old`

`mv old PROGRAM`

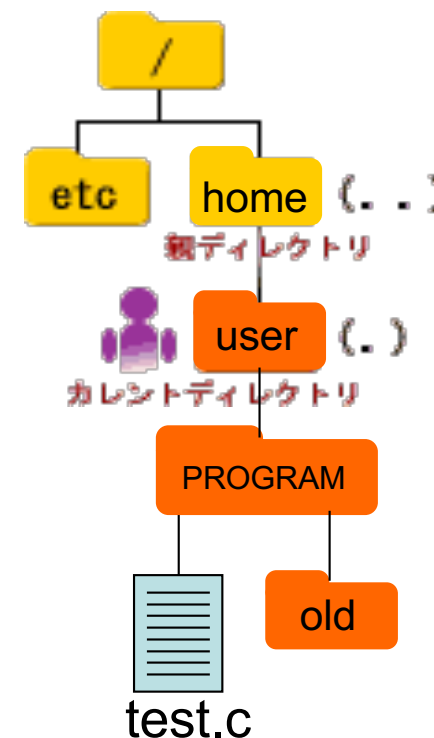
3. touchコマンドで test.c という名前の空ファイルをディレクトリPROGRAMに作る。

`touch test.c`

`mv test.c PROGRAM`

4. ディレクトリPROGRAMに、ディレクトリoldとファイルtest.cが作成できたことを確認する。

`ls -l PROGRAM`



プログラミング特講I第1回小テスト 解答例1

1. ディレクトリ PROGRAMにソースプログラム(ファイル名test1.c)を作成する。(内容は講義内で指示)

- `$ cd`
- `$ cd PROGRAM`
(もしくは上2行をまとめて`cd ~/PROGRAM`)※
- `$ vi test1.c`

2. test1.cのコピーをtest_origという名前でディレクトリoldに作成する。

- (ディレクトリoldが無い場合は) `$ mkdir old`
- `$ cp test1.c old/test_orig.c`

3. test.cを編集する。(編集内容は講義内で指示)

- `$ vi test1.c`

4. test.cとtest_origの違いをdiffコマンドを利用して表示

- `$ diff test1.c old/test_orig.c`

※参考:ホームディレクトリを~(チルダ)記号で表す

